

神戸市内の学校の様子，卒業後の状況

－平成26年度学校基本調査－

神戸市内の学校の様子，卒業後の状況

－平成26年度学校基本調査－

- ・神戸市内にある幼稚園の園児数，小学校の児童数，中学校の生徒数は前年度よりそれぞれ0.6%，0.8%，1.8%減少した。一方で，高校の生徒数は前年度より1.5%増加した。
- ・短期大学は，前年度は1校市内に移転してきたことにより学生数が増加していたが，再び減少した。大学の学部学生数は3年連続の減少，大学院学生数も4年連続で減少した。
- ・平成26年3月の中学校卒業者の高等学校等への進学率は98.7%と前年度に比べ0.3ポイント上昇した。また，平成26年3月の高等学校卒業者の大学等への進学率は60.4%と前年度に比べ0.8ポイント下降した。専修学校(専門課程)への進学率は11.3%と前年度より0.5ポイント上昇し，就職率は12.9%と前年度に比べ0.2ポイント上昇した。

学校基本調査(基幹統計調査)は，小学校，中学校，中等教育学校，高等学校，大学，短期大学，高等専門学校，特別支援学校，幼稚園及び専修学校並びに各種学校を対象として，その基本的事項について調査し，学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に，昭和23年以降毎年5月1日現在で実施されている。

この調査は，学校調査，学校施設調査，卒業後の状況調査等6種類の調査からなるが，ここではその中から学校調査及び卒業後の状況調査について，神戸市の平成26年度結果をまとめた。

表 1 神戸市内の幼稚園，小学校，中学校

(単位：人)

年次	幼稚園 園児数	小学校 児童数	中学校 生徒数	全日制高校 生徒数	幼稚園			小	
					3歳児	4歳児	5歳児	1年	2年
平成元年	25,225	107,659	65,056	68,586	2,284	9,643	13,298	17,347	16,910
2年	25,144	106,211	62,069	68,593	2,536	9,556	13,052	17,408	17,452
3年	25,116	104,769	59,985	66,788	2,810	9,604	12,702	16,994	17,517
4年	25,110	103,804	58,210	63,562	3,317	9,514	12,279	16,519	17,086
5年	24,685	103,174	56,134	60,806	3,258	9,546	11,881	16,194	16,642
6年	23,968	101,677	54,387	58,114	3,256	9,098	11,614	15,571	16,211
7年	21,930	95,113	52,601	55,811	3,012	8,428	10,490	14,558	14,873
8年	22,225	92,704	52,916	53,145	3,302	8,692	10,231	13,946	14,647
9年	22,062	89,758	52,801	50,625	3,159	8,807	10,096	13,754	13,943
10年	21,702	87,059	51,550	49,395	3,386	8,429	9,887	13,532	13,736
11年	21,160	84,897	49,799	49,164	3,123	8,693	9,344	13,421	13,527
12年	21,060	82,955	48,055	49,166	3,266	8,200	9,594	13,051	13,418
13年	20,968	82,072	46,587	48,028	3,427	8,633	8,908	13,649	13,103
14年	21,476	81,204	44,995	46,654	3,564	8,733	9,179	13,027	13,692
15年	21,869	80,940	43,774	45,497	3,847	8,923	9,099	13,376	13,065
16年	22,052	80,914	42,848	44,571	4,006	8,784	9,262	13,513	13,329
17年	22,146	81,301	42,602	43,113	4,303	8,712	9,131	13,835	13,504
18年	22,315	81,998	42,306	41,761	4,519	8,742	9,054	13,728	13,883
19年	22,469	81,760	42,445	40,794	4,766	8,722	8,981	13,541	13,675
20年	22,339	82,041	42,121	40,392	4,830	8,582	8,927	13,396	13,581
21年	21,878	82,129	42,080	39,917	4,812	8,331	8,735	13,421	13,421
22年	21,717	81,695	41,674	39,744	5,232	8,029	8,456	13,135	13,448
23年	21,839	80,595	42,258	39,561	5,393	8,235	8,211	12,837	13,154
24年	22,141	79,492	42,571	39,769	5,713	8,057	8,371	12,660	12,828
25年	22,002	78,738	42,442	39,911	5,687	8,105	8,210	12,941	12,640
平成26年	21,874	78,146	41,657	40,691	5,813	7,818	8,243	12,770	12,951

表2 神戸市内の学校数、教員数及び在学者数（平成26年5月1日現在）

（単位：人）

区 分	学 校 数					教員数 (本務者)	在 学 者 数		
	総数	国立	県立	市立	私立		総数	男	女
幼稚園	150	—	—	47	103	1,486	21,874	11,107	10,767
小学校	172	—	—	167	5	4,377	78,146	39,985	38,161
中学校	102	—	—	84	18	2,695	41,657	20,804	20,853
高等学校	56	—	22	9	25	2,999	42,232	21,067	21,165
中等教育学校a)	1	1	—	—	—	76	996	487	509
特別支援学校b)	11	—	4	7	—	958	1,461	943	518
専修学校	39	1	1	—	37	576	9,169	4,683	4,486
各種学校	33	—	—	—	33	302	4,715	2,516	2,199
短期大学	5	—	—	—	5	101	1,757	31	1,726
高等専門学校	1	—	—	1	—	96	1,264	1,083	181
大 学	20	1	1	2	16	4,001	65,871	31,874	33,997

a)本市外校舎分を含む。

b)平成19年度から従来の「盲・聾・養護学校」は「特別支援学校」へ一本化された。

及び全日制高等学校の在学者数の推移（各年5月1日現在）

学 校				中 学 校			高 等 学 校（全日制）		
3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
17,113	17,884	18,895	19,510	20,264	21,601	23,191	23,781	23,054	21,751
17,000	17,268	18,053	19,030	19,962	20,396	21,711	23,131	23,125	22,337
17,585	17,156	17,346	18,171	19,428	20,047	20,510	21,944	22,453	22,391
17,660	17,743	17,290	17,506	18,555	19,513	20,142	20,468	21,392	21,702
17,256	17,769	17,932	17,381	17,827	18,693	19,614	20,030	19,958	20,818
16,722	17,310	17,880	17,983	17,734	17,913	18,740	19,196	19,448	19,470
15,531	16,129	16,716	17,306	17,700	17,314	17,587	18,241	18,660	18,910
15,102	15,756	16,340	16,913	17,696	17,789	17,431	17,295	17,739	18,111
14,707	15,147	15,817	16,390	17,214	17,741	17,846	16,906	16,543	17,176
13,981	14,749	15,209	15,852	16,533	17,245	17,772	17,190	16,231	15,974
13,805	14,034	14,834	15,276	15,984	16,557	17,258	16,991	16,529	15,644
13,618	13,863	14,142	14,863	15,444	16,033	16,578	16,914	16,292	15,960
13,511	13,699	13,913	14,197	15,057	15,459	16,071	16,194	16,092	15,742
13,186	13,578	13,759	13,962	14,407	15,102	15,486	15,777	15,369	15,508
13,771	13,244	13,697	13,787	14,186	14,447	15,141	15,460	15,142	14,895
13,163	13,825	13,323	13,761	14,184	14,187	14,477	14,977	14,875	14,719
13,402	13,264	13,918	13,378	14,143	14,218	14,241	14,275	14,429	14,409
13,591	13,506	13,335	13,955	13,873	14,178	14,255	14,070	13,730	13,961
13,936	13,659	13,561	13,388	14,366	13,902	14,177	14,085	13,437	13,272
13,709	14,029	13,711	13,615	13,822	14,368	13,931	13,884	13,491	13,017
13,623	13,788	14,107	13,769	13,852	13,849	14,379	13,490	13,339	13,088
13,455	13,667	13,852	14,138	13,943	13,866	13,865	13,765	12,932	13,047
13,494	13,504	13,693	13,913	14,407	13,959	13,892	13,528	13,346	12,687
13,213	13,501	13,560	13,730	14,116	14,447	14,008	13,667	13,102	13,000
12,833	13,243	13,542	13,539	13,870	14,123	14,449	13,830	13,267	12,814
12,684	12,888	13,272	13,581	13,645	13,881	14,131	14,293	13,438	12,960

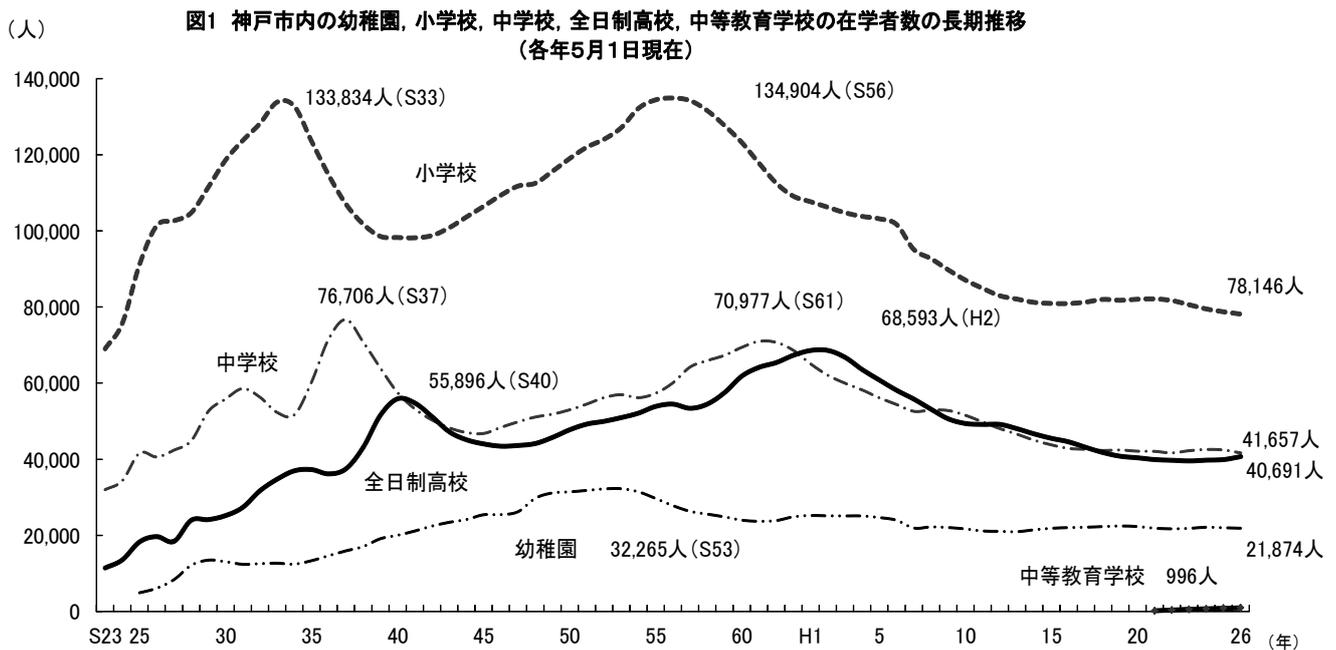
I 市内の学校の様子

1 長期推移

図1は、昭和23年の調査開始から現在に至るまでの在学者数の推移を示したものである。園児、児童、生徒数は第1次ベビーブーム(昭和22年～24年)後の昭和30～40年と、第2次ベビーブーム(昭和46年～49年)後の昭和50年台半ば～平成元年にかけての2回、それぞれ順を追って、ピークを迎えている。

2回目のピーク以降、在学者数は小学校、中学校については全国と同様に減少傾向にある。

平成26年については、前年度と比べ園児数、小学校児童数、中学校生徒数は減少、高等学校生徒数は増加した。



2 幼稚園

園児数は2年連続で減少

(1) 園数

幼稚園数は150園（市立47園，私立103園）で，前年度と同数であった。ピーク時（昭和56年）に200あった園数は，その後減少傾向で推移している。

(2) 園児数

園児数は21,874人（男子11,107人，女子10,767人）で，前年度より128人（△0.6%）減少した。園児数を年齢別にみると，3歳児5,813人（構成比26.6%），4歳児7,818人（同35.7%），5歳児8,243人（同37.7%）となっている。前年度と比べて，3歳児は126人の増加，4歳児は287人の減少，5歳児は33人の増加となっている。

設置者別にみると，市立の園児数は2,649人（構成比12.1%），私立の園児数は19,225人（同87.9%）である。市立は前年度と比べて96人減少，私立は32人減少している。

区別にみると，園児数が多い順に，北区（3,707人），垂水区（3,667人），西区（3,471人）となっている。逆に最も少ないのは兵庫区（705人）である。前年度と比べ，増加数が最も多いのは中央区（28人増）で，灘区（26人増），兵庫区（8人増）と続いている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は1,486人で，前年度より32人増加した。

表3 幼稚園の園数，教員数及び園児数（各年5月1日現在）

（単位：人）

年次	園数			教員数（本務者）			園児数					
	総数	市立	私立	総数	男	女	総数	男	女	3歳児	4歳児	5歳児
平成24年	151	48	103	1,486	74	1,412	22,141	11,320	10,821	5,713	8,057	8,371
平成25年	150	47	103	1,454	71	1,383	22,002	11,266	10,736	5,687	8,105	8,210
平成26年	150	47	103	1,486	70	1,416	21,874	11,107	10,767	5,813	7,818	8,243
増加数 (26年-25年)	—	—	—	32	△1	33	△128	△159	31	126	△287	33

表4 幼稚園園児数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増加数 (26-25年)
総数	21,878	21,717	21,839	22,141	22,002	21,874	△128
市立	2,825	2,787	2,841	2,830	2,745	2,649	△96
私立	19,053	18,930	18,998	19,311	19,257	19,225	△32
東灘区	3,422	3,358	3,402	3,337	3,292	3,212	△80
灘区	2,056	2,041	2,019	2,030	2,033	2,059	26
中央区	1,143	1,137	1,168	1,166	1,105	1,133	28
兵庫区	775	746	714	724	697	705	8
北区	3,783	3,771	3,840	3,889	3,731	3,707	△24
長田区	929	968	994	1,030	1,047	1,044	△3
須磨区	2,903	2,852	2,903	2,937	2,907	2,876	△31
垂水区	3,494	3,446	3,414	3,547	3,682	3,667	△15
西区	3,373	3,398	3,385	3,481	3,508	3,471	△37
東部市街地	6,621	6,536	6,589	6,533	6,430	6,404	△26
西部市街地	1,704	1,714	1,708	1,754	1,744	1,749	5
周辺4区	13,553	13,467	13,542	13,854	13,828	13,721	△107

注）東部市街地：東灘区，灘区，中央区 西部市街地：兵庫区，長田区
周辺4区：北区，須磨区，垂水区，西区

3 小学校

児童数は5年連続の減少

(1) 学校数

学校数は、172校（国立0校、市立167校、私立5校）で、前年度より国立1校減少、市立1校増加であった。

(2) 学級数

学級数は2,898学級で、前年度より11学級減少した。1学級当たり児童数は27.0人で、前年度より0.1人減少した。

(3) 児童数

児童数は78,146人（男子39,985人、女子38,161人）で、前年度より592人（△0.8%）減少した。

児童数はピーク時（昭和56年の134,904人）から平成16年度まで一貫して減少し、平成17年度から平成21年度は増加傾向を示した（平成19年度を除く）。しかし、22年度以降は再度減少に転じ、今年で5年連続の減少となった。これはピーク時の57.9%の規模にあたる。

区別にみると、児童数の多い順に、西区(14,521人)、北区(12,551人)、東灘区(11,963人)となっている。逆に最も少ないのは長田区（3,701人）である。

児童数は、灘区で105人、垂水区で77人増加しているが、その他の区では、前年度より減少している。東部市街地（東灘区、灘区、中央区）は10年連続で増加していたが、3年前から減少となり、西部市街地（兵庫区、長田区）は7年連続の減少である。さらに、周辺4区（北区、須磨区、垂水区、西区）は今年度は垂水区が増加したものの、減少傾向が続いている。

表5 小学校の学校数、学級数、教員数、児童数等（各年5月1日現在）

(単位：人)

年次	学校数				学級数	教員数（本務者）			児童数			1学級当たり児童数	教員1人当たり児童数
	総数	国立	市立	私立		総数	男	女	総数	男	女		
平成24年	172	1	166	5	2,916	4,365	1,628	2,737	79,492	40,625	38,867	27.3	18.2
平成25年	172	1	166	5	2,909	4,367	1,623	2,744	78,738	40,231	38,507	27.1	18.0
平成26年	172	0	167	5	2,898	4,377	1,595	2,782	78,146	39,985	38,161	27.0	17.9
増加数 (26年-25年)	-	△1	1	-	△11	10	△28	38	△592	△246	△346	△0.1	△0.2

表6 区別小学校児童数の推移（各年5月1日現在）

(単位：人)

区	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増加数 (26-25年)
総数	82,129	81,695	80,595	79,492	78,738	78,146	△592
東灘区	12,734	12,739	12,404	12,250	12,152	11,963	△189
灘区	6,128	6,218	6,281	6,221	6,193	6,298	105
中央区	5,159	5,242	5,301	5,308	5,333	5,258	△75
兵庫区	4,175	4,164	4,103	4,081	4,047	3,971	△76
北区	13,369	13,172	12,979	12,806	12,712	12,551	△161
長田区	4,080	3,999	3,883	3,828	3,748	3,701	△47
須磨区	9,122	8,967	8,733	8,543	8,343	8,279	△64
垂水区	11,845	11,861	11,746	11,575	11,527	11,604	77
西区	15,517	15,333	15,165	14,880	14,683	14,521	△162
東部市街地	24,021	24,199	23,986	23,779	23,678	23,519	△159
西部市街地	8,255	8,163	7,986	7,909	7,795	7,672	△123
周辺4区	49,853	49,333	48,623	47,804	47,265	46,955	△310

注) 東部市街地：東灘区、灘区、中央区 西部市街地：兵庫区、長田区
周辺4区：北区、須磨区、垂水区、西区

(4) 教員数

教員数（本務者）は4,377人で、前年度より10人増加した。教員1人当たりの児童数は17.9人で、前年度より0.2人減少した。

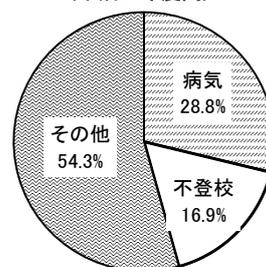
(5) 長期欠席児童数

平成25年度間に通算30日以上欠席した児童は764人で、前年度より18人増加した。これは、全児童（平成25年、78,738人）の1.0%（前年度より0.1ポイント上昇）にあたる。

表7 小学校の理由別長期欠席児童数

年次	総数	病気	経済的理由	不登校	その他
平成23年度間	749	227	—	132	390
平成24年度間	746	235	—	127	384
平成25年度間	764	220	—	129	415
増加数 (25-24年度)	18	△15	—	2	31

図2 小学校の理由別長期欠席児童数(構成比)
(平成25年度間)



4 中学校

生徒数は3年ぶりに減少

(1) 学校数

学校数は102校(国立0校, 市立84校, 私立18校)で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

学級数は1,307学級で、前年度と同数であった。1学級当たり生徒数は31.9人で、前年度より0.6人減少した。

(3) 生徒数

生徒数は41,657人(男子20,804人, 女子20,853人)で、前年度より785人(△1.8%)減少した。これはピーク時(昭和37年の76,706人)の54.3%にあたる。

区別にみると、生徒数の多い順に、西区(7,597人)、北区(6,127人)、東灘区(5,857人)となっている。逆に最も少ないのは兵庫区(1,757人)である。生徒数は西区で84人増加、次いで兵庫区で38人増加したが、その他の区では前年度より減少している。生徒数が最も減少した区は灘区(△206人)で、次いで垂水区(△198人)、須磨区(△182人)の順である。

(4) 教員数

教員数（本務者）は2,695人（男性1,624人, 女性1,071人）で、前年度より13人増加した。教員1人当たり生徒数は15.5人で、前年度より0.4人減少した。

表8 中学校の学校数, 学級数, 教員数, 生徒数等(各年5月1日現在)

(単位: 人)

年次	学 校 数				学級数	教 員 数 (本 務 者)			生 徒 数			1学級 当たり 生徒数	教員1人 当たり 生徒数
	総数	国立	市立	私立		総数	男	女	総数	男	女		
平成24年	102	—	84	18	1,306	2,676	1,629	1,047	42,571	21,086	21,485	32.6	15.9
平成25年	102	—	84	18	1,307	2,682	1,617	1,065	42,442	21,018	21,424	32.5	15.8
平成26年	102	—	84	18	1,307	2,695	1,624	1,071	41,657	20,804	20,853	31.9	15.5
増加数 (26年-25年)	—	—	—	—	—	13	7	6	△785	△214	△571	△0.6	△0.4

表9 区別中学校生徒数の推移（各年5月1日現在）

(単位:人)

区	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増加数 (26-25年)
総数	42,080	41,674	42,258	42,571	42,442	41,657	△ 785
東灘区	5,569	5,524	5,758	5,837	5,957	5,857	△ 100
灘区	4,710	4,681	4,800	4,880	4,823	4,617	△ 206
中央区	2,481	2,464	2,305	2,315	2,893	2,840	△ 53
兵庫区	1,849	1,933	2,273	2,288	1,719	1,757	38
北区	6,383	6,326	6,285	6,293	6,235	6,127	△ 108
長田区	2,041	2,053	2,041	2,000	1,936	1,876	△ 60
須磨区	5,605	5,499	5,535	5,604	5,525	5,343	△ 182
垂水区	5,706	5,625	5,749	5,809	5,841	5,643	△ 198
西区	7,736	7,569	7,512	7,545	7,513	7,597	84
東部市街地	12,760	12,669	12,863	13,032	13,673	13,314	△ 359
西部市街地	3,890	3,986	4,314	4,288	3,655	3,633	△ 22
周辺4区	25,430	25,019	25,081	25,251	25,114	24,710	△ 404

注) 東部市街地：東灘区、灘区、中央区 西部市街地：兵庫区、長田区
周辺4区：北区、須磨区、垂水区、西区

(5) 長期欠席生徒数

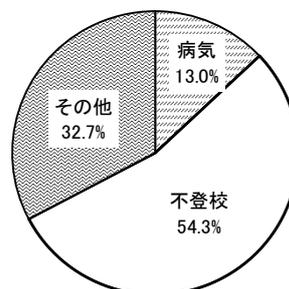
平成25年度間に通算30日以上欠席した生徒は1,798人で、前年度より100人増加した。これは、全生徒(平成25年43,006人)の4.2%(前年度より0.3ポイント上昇)にあたる。

表10 中学校の理由別長期欠席生徒数

年次	総数	病気	経済的理由	不登校	その他
平成23年度間	1,746	194	—	1,017	535
平成24年度間	1,698	208	—	992	498
平成25年度間	1,798	234	—	976	588
増加数 (25-24年度)	100	26	—	△ 16	90

注) 中等教育学校(前期課程)の長期欠席者を含む。

**図3 中学校の理由別長期欠席児童数(構成比)
(平成25年度間)**



5 高等学校

東灘区で生徒の増加が続く

(1) 学校数

学校数は56校(県立22校, 市立9校, 私立25校)で、前年度と同数であった。うち全日制は50校, 定時制は6校(公立のみ)であった。

(2) 生徒数

生徒数は42,232人(男子21,067人, 女子21,165人)で、前年度より626人(1.5%)増加した。課程別にみると、全日制の生徒数は40,691人(男子20,039人, 女子20,652人)で、前年度より780人増加している。定時制の生徒数は1,541人(男子1,028人, 女子513人)で、前年度より154人減少した。

区別にみると、生徒数の多い順に、須磨区(8,201人)、長田区(7,099人)、中央区(6,329人)となっており、この上位3区だけで生徒総数の半分を占めている。

(3) 教員数

教員数(本務者)は2,999人(男性2,175人, 女性824人)で、前年度より24人増加した。

表11 高等学校の学校数、教員数及び生徒数（各年5月1日現在）

(単位：人)

年次	学 校 数						教 員 数 (本 務 者)			生 徒 数		
	総数	全日制	定時制	県立	市立	私立	総数	男	女	総数	男	女
平成24年	56	50	6	22	9	25	2,991	2,208	783	41,492	20,811	20,681
平成25年	56	50	6	22	9	25	2,975	2,171	804	41,606	20,922	20,684
平成26年	56	50	6	22	9	25	2,999	2,175	824	42,232	21,067	21,165
増加数 (26年-25年)	-	-	-	-	-	-	24	4	20	626	145	481

表12 高等学校生徒数の推移（各年5月1日現在）

(単位：人)

区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増加数 (26-25年)
総数	41,403	41,403	41,267	41,492	41,606	42,232	626
全日制	39,917	39,744	39,561	39,769	39,911	40,691	780
定時制	1,486	1,659	1,706	1,723	1,695	1,541	△154
東灘区	3,777	3,846	3,898	4,007	4,100	4,256	156
灘区	3,423	3,347	3,343	3,308	3,277	3,314	37
中央区	5,992	6,143	6,253	6,363	6,274	6,329	55
兵庫区	2,788	2,822	2,818	2,819	2,794	2,727	△67
北区	3,303	3,281	3,353	3,331	3,333	3,423	90
長田区	6,812	6,763	6,669	6,817	6,987	7,099	112
須磨区	8,326	8,138	7,936	7,895	8,008	8,201	193
垂水区	3,629	3,661	3,662	3,661	3,662	3,672	10
西区	3,353	3,402	3,335	3,291	3,171	3,211	40

6 中等教育学校

引き続き、後期課程が増加

(1) 学校数

学校数は1校(国立1校)で、平成21年度に新設された。

(2) 生徒数

生徒数は996人(男子487人、女子509人)である。課程別にみると、前期課程の生徒数は573人、後期課程の生徒数は423人である。

(3) 教員数

教員数(本務者)は76人(男性50人、女性26人)で、前年度より14人増加した。

表13 中等教育学校の学校数、学級数、教員数、生徒数（各年5月1日現在）

(単位：人)

年次	学 校 数		教 員 数 (本 務 者)			前 期 課 程			後 期 課 程				
	総数	国立	総数	男	女	学級数	生 徒 数			学級数	生 徒 数		
							総数	男	女		総数	男	女
平成24年	1	1	48	33	15	15	558	280	278	-	150	67	83
平成25年	1	1	62	41	21	15	564	276	288	-	289	141	148
平成26年	1	1	76	50	26	15	573	281	292	-	423	206	217
増加数 (26年-25年)	-	-	14	9	5	-	9	5	4	-	134	65	69

注) 本市外校舎分を含む。

7 特別支援学校

在学者数が増加

(1) 学校数

学校数は11校(県立4校, 市立7校)で, 前年度と同数であった。

(2) 学級数

学級数は412学級で前年度より5学級増加した。

(3) 在学者数

在学者数は1,461人(男子943人, 女子518人)で, 前年度より40人増加した。

(4) 教員数

教員数(本務者)は958人である。前年度より30人増加した。

表14 特別支援学校の学校数, 学級数, 教員数及び在学者数(各年5月1日現在)

(単位:人)

年次	学校数			学級数	教員数(本務者)			在学者数						
	総数	県立	市立		総数	男	女	総数	男	女	幼稚部	小学部	中学部	高等部
平成24年	10	4	6	399	925	442	483	1,408	896	512	16	316	357	719
平成25年	11	4	7	407	928	437	491	1,421	911	510	23	315	371	712
平成26年	11	4	7	412	958	451	507	1,461	943	518	20	309	396	736
増加数 (26年-25年)	-	-	1	5	30	14	16	40	32	8	△3	△6	25	24

8 専修学校

生徒数は増加

(1) 学校数

学校数は, 39校(国立1校, 県立1校, 私立37校)で, 前年度より2校減少した。中央区に約半数の21校が集中している。

(2) 生徒数

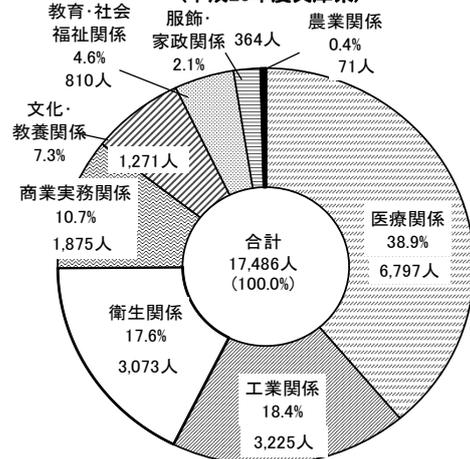
生徒数は9,169人(男子4,683人, 女子4,486人)で, 前年度より62人(0.7%)増加した。中央区が最も多い5,289人で全体の57.7%を占める。なお, 神戸市を含む兵庫県(17,486人)の学科別内訳は, 図4のとおりであり, 生徒数が多い順に医療関係(6,797人), 工業関係(3,225人), 衛生関係(3,073人)となっている。

表15 専修学校の概況(各年5月1日現在)

(単位:人, %)

年次区	学校数	生徒数			生徒数 構成比
		総数	男	女	
平成24年	41	9,117	4,657	4,460	
平成25年	41	9,107	4,643	4,464	
平成26年	39	9,169	4,683	4,486	100.0
東灘区	4	934	385	549	10.2
灘区	1	-	-	-	-
中央区	21	5,289	2,776	2,513	57.7
兵庫区	1	232	88	144	2.5
北区	3	143	15	128	1.6
長田区	3	401	62	339	4.4
須磨区	2	883	419	464	9.6
西区	4	1,287	938	349	14.0

(参考)図4 専修学校学科別生徒数(構成比)
(平成26年度兵庫県)



9 各種学校

生徒数は減少

(1) 学校数

学校数は、33校で前年度と同数であった。専修学校と同様に、中央区が最も多く11校ある。

(2) 生徒数

生徒数は4,715人(男子2,516人, 女子2,199人)で、前年度より75人(△1.6%)減少した。

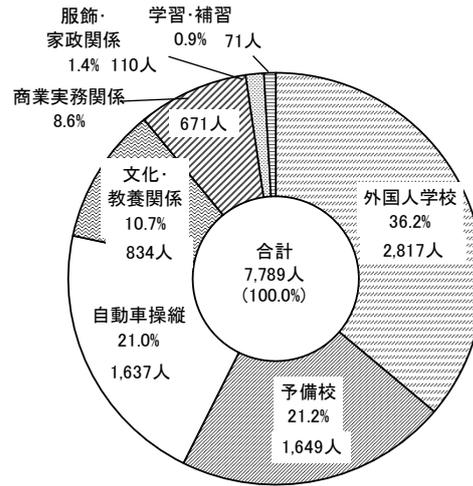
なお、神戸市を含む兵庫県の新課程別内訳は、図5のとおりであり、生徒数が多い順に、外国人学校(2,817人)、予備校(1,649人)、自動車操縦(1,637人)である。

表16 各種学校の概況(各年5月1日現在)

(単位:人, %)

年次区	学校数	生徒数			生徒数 構成比
		総数	男	女	
平成24年	36	4,918	2,655	2,263	
平成25年	33	4,790	2,539	2,251	
平成26年	33	4,715	2,516	2,199	100.0
東灘区	6	833	362	471	17.7
灘区	1	—	—	—	0.0
中央区	11	2,531	1,623	908	53.7
兵庫区	2	148	68	80	3.1
長田区	4	556	128	428	11.8
須磨区	5	340	166	174	7.2
垂水区	3	236	122	114	5.0
西区	1	71	47	24	1.5

(参考)図5 各種学校課程別生徒数(構成比)
(平成26年度兵庫県)



10 短期大学・高等専門学校

短期大学の学生数が減少

(1) 短期大学

短期大学の学校数は前年度と同数であった。

学生数は1,757人(男子31人, 女子1,726人)で、前年度より32人(△1.8%)減少した。学生数のうち、女子の占める割合は98.2%と、前年度より0.4ポイント増加した。

兼務者を含む教員数は409人(男性163人, 女性246人)で、前年度より6人減少した。

表17 短期大学の学校数, 教員数及び学生数の推移(各年5月1日現在)

(単位:人, %)

年次区	学校数	a) 教員数			b) 学生数			女子学生の割合
		総数	男	女	総数	男	女	
平成21年	5	431	171	260	2,150	60	2,090	97.2
22年	5	434	159	275	2,015	38	1,977	98.1
23年	5	420	155	265	1,916	37	1,879	98.1
24年	4	395	151	244	1,747	37	1,710	97.9
25年	5	415	163	252	1,789	38	1,751	97.9
平成26年	5	409	163	246	1,757	31	1,726	98.2
東灘区	1	69	18	51	347	11	336	96.8
中央区	3	285	119	166	1,176	20	1,156	98.3
長田区	1	55	26	29	234	—	234	100.0

注) 神戸市集計分である。

a) 兼務者を含む。

b) 聴講生, 研究生等を含む。

(2) 高等専門学校

高等専門学校は、市立1校である。

学生数は1,264人（男子1,083人，女子181人）で，女子学生の割合は14.3%である。この割合は平成12年以降低下していたが，5年連続で上昇した。

教員数(本務者)は96人（男性90人，女性6人）で，前年度より3人増加した。

表18 高等専門学校の学校数，教員数及び学生数の推移（各年5月1日現在）

(単位：人，%)

年次	学校数	教員数（本務者）			学生数			女子学生の割合
		総数	男	女	総数	男	女	
平成21年	1	95	89	6	1,259	1,110	149	11.8
22年	1	96	90	6	1,288	1,135	153	11.9
23年	1	94	89	5	1,288	1,134	154	12.0
24年	1	93	88	5	1,283	1,126	157	12.2
25年	1	93	88	5	1,271	1,102	169	13.3
平成26年	1	96	90	6	1,264	1,083	181	14.3

11 大学

女子学生の割合が8年連続で上昇

(1) 学校数

大学の学校数は20校(国立1校，県立1校，市立2校，私立16校)で，前年度と同数であった。

(2) 学生数

学生数は65,871人（男子31,874人，女子33,997人）で，前年度より914人減少した。

学生数のうち学部学生は58,981人(構成比89.5%)，大学院学生は5,930人(同9.0%)，専攻科・別科等の学生は960人(同1.5%)となっており，学部学生は前年度より758人減少し，3年連続で減少している。また，大学院の学生数は4年連続で減少した。

女子学生の割合は8年連続で上昇し，

51.6%と5年連続で5割を超えた。全国全学生の女子学生の割合は42.7%であり，神戸はこれを8.9ポイント上回っている。

表19 女子学生の割合の推移（各年5月1日現在）

(単位：%)

年次	全学生	学部学生	大学院生	(参考) 全国全学生
平成21年	49.6	51.1	35.3	40.7
22年	50.2	51.7	34.5	41.1
23年	50.8	52.3	35.1	41.5
24年	51.0	52.5	35.5	41.9
25年	51.4	52.9	35.9	42.4
平成26年	51.6	53.1	36.0	42.7

※専攻科：大学を卒業した者に対して，1年以上教授研究指導するもの

※別科：高等学校を卒業した者等に対して，1年以上特別の技能教育を施すもの

表20 大学学生数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）

年次 区	学校数	学 生 数						
		総 数	男	女	学部学生	大学院学生	専攻科・ 別科等	
平成21年	21	65,031	32,784	32,247	57,441	6,293	1,297	
22年	21	66,506	33,132	33,374	58,990	6,338	1,178	
23年	20	67,320	33,123	34,197	59,969	6,241	1,110	
24年	20	66,988	32,812	34,176	59,897	6,052	1,039	
25年	20	66,785	32,442	34,343	59,739	6,013	1,033	
平成26年	20	65,871	31,874	33,997	58,981	5,930	960	
東灘区	4	16,234	7,184	9,050	15,574	373	287	
灘区	3	19,328	11,038	8,290	14,405	4,523	400	
中央区	4	3,258	1,383	1,875	3,118	109	31	
北区	1	1,958	1	1,957	1,951	2	5	
長田区	1	1,012	219	793	1,012	—	—	
須磨区	1	3,439	2	3,437	3,367	51	21	
西区	6	20,642	12,047	8,595	19,554	872	216	

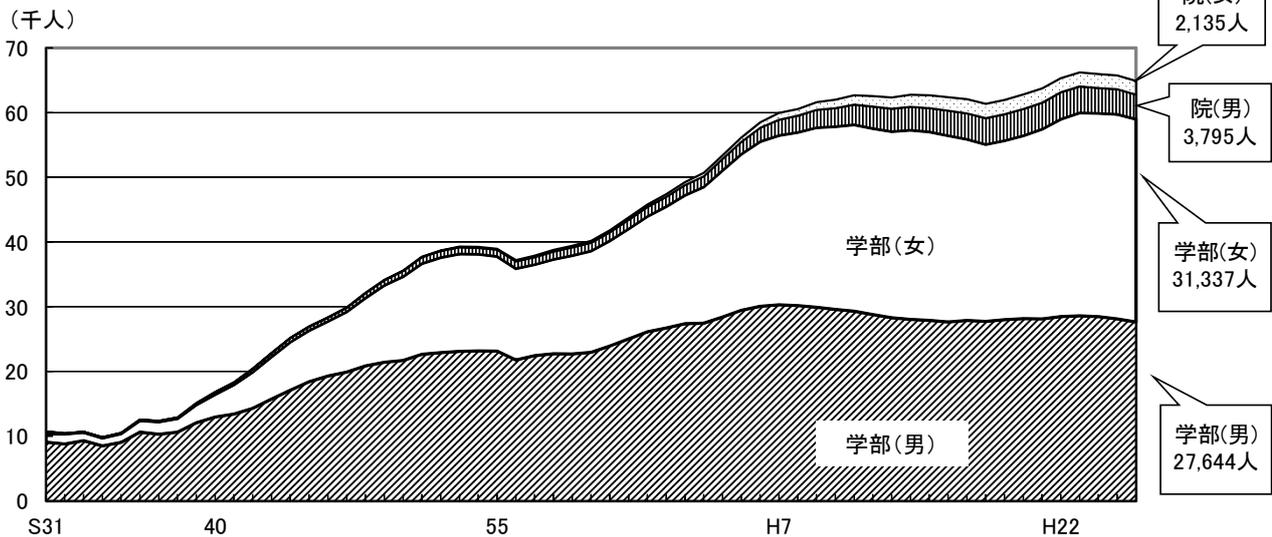
注）神戸市集計分である。区別の数値は、本部の所在区に計上し、神戸市外にある学部を含まない。

図6は、大学学部学生数、大学院学生数の長期的な推移を示したものである。

学部学生数については、昭和57年から平成11年まで増え続けた後は増減を繰り返しており、近年増加傾向にあったものの、この3年は連続しての減少となった。大学院学生数は平成20年まで増加を続けていたが、現在は減少傾向にあり、4年連続の減少となった。

また、男女別でみると、男子は第2次ベビーブーム世代が進学した平成8年にピークを迎えた。女子は大学進学率の上昇が寄与し、昭和58年以降平成15年まで一貫して増え続けた後、やや減少があったものの平成19年から再度増加に転じた。その後7年連続で増加し、前年度は過去最高を更新したが、今年度は減少となった。

図6 大学学生数(学部, 院)の推移(各年5月1日現在)



(3) 関係学科別学部学生(昼間学部学生)の構成

学部学生の関係学科別構成比をみると、文科系学部学生数(人文科学・社会科学・教育の合計)が、全体の59.5%を占めている。全国では文科系学部学生の割合は54.6%であり、神戸は全国値より高い数値になっている。男女別にみると、男子は社会科学が最も高く54.3%で、女子は人文科学が28.7%で最も高くなっている。

表21 関係学科別屋間学部学生数（各年5月1日現在）

(単位：人，%)

関係学科	23年	24年	25年	26年			構成比（26年）			(参考)全国 構成比 総数
				総数	男	女	総数	男	女	
総数	59,461	59,441	59,296	58,546	27,471	31,075	100.0	100.0	100.0	100.0
人文科学 a)	12,313	12,206	12,197	11,947	3,024	8,923	20.4	11.0	28.7	14.5
社会科学 b)	22,032	21,602	21,271	20,907	14,906	6,001	35.7	54.3	19.3	32.7
教育	1,673	1,782	1,927	1,989	89	1,900	3.4	0.3	6.1	7.3
理学・工学 c)	4,409	4,434	4,423	4,420	3,178	1,242	7.5	11.6	4.0	18.4
医学・薬学	5,403	5,582	5,619	5,567	2,193	3,374	9.5	8.0	10.9	5.7
その他 d)	13,631	13,835	13,859	13,716	4,081	9,635	23.4	14.9	31.0	21.3

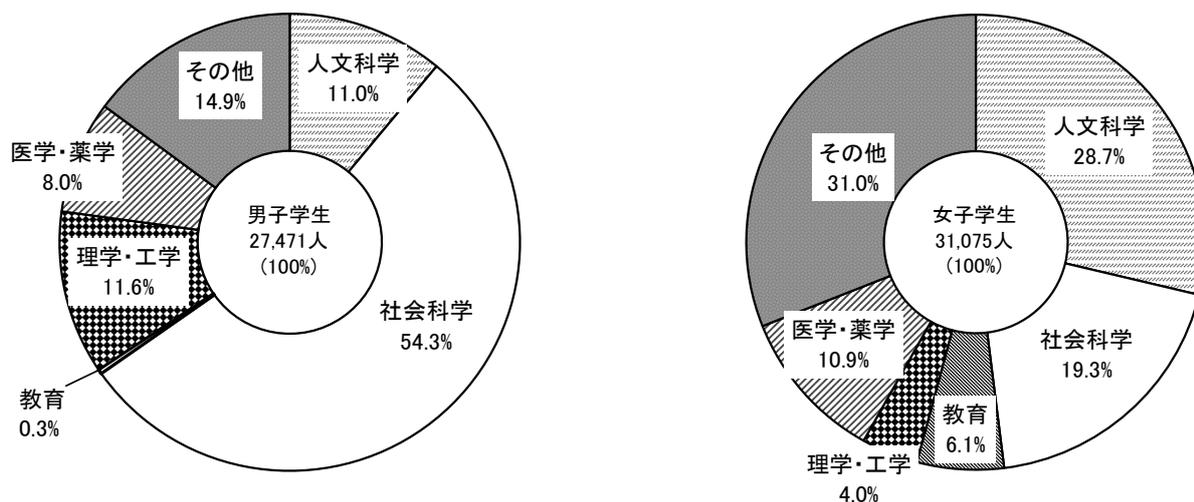
a)文学部，外国語学部，人文学部，国際文化学部，現代人間学部，現代社会学部

b)法学部，経済学部，総合政策学部，経営学部，商学部，情報学部，現代社会学部，サービス産業学部，観光文化学部

c)理学部，工学部，デザイン学部，フロンティアサイエンス学部

d)農学部，家政学部，看護学部等

図7 男女別，関係学科別屋間学部学生数(構成比)（平成26年5月1日現在）



(4) 教員数

兼務者を含む教員数は8,054人（男性5,573人，女性2,481人）である。このうち女性教員の占める割合は，30.8%と前年度を0.1ポイント上回った。

表22 大学教員数の推移（各年5月1日現在）

(単位：人，%)

年次設置者	学校数	a) 教員数			構成比		
		総数	男	女	総数	男	女
平成21年	21	7,606	5,465	2,141	100.0	71.9	28.1
22年	21	7,772	5,569	2,203	100.0	71.7	28.3
23年	20	7,979	5,710	2,269	100.0	71.6	28.4
24年	20	7,934	5,538	2,396	100.0	69.8	30.2
25年	20	7,930	5,492	2,438	100.0	69.3	30.7
平成26年	20	8,054	5,573	2,481	100.0	69.2	30.8
国立	1	2,353	1,916	437	100.0	81.4	18.6
県立	1	894	705	189	100.0	78.9	21.1
市立	2	300	154	146	100.0	51.3	48.7
私立	16	4,507	2,798	1,709	100.0	62.1	37.9

a) 兼務者を含む。また，大学本部（事務局）が神戸市内にある大学の教員を全て含む。

II 卒業後の状況

1 中学校

高等学校等への進学率は98.7%，就職率は0.2%

平成26年3月の中学校の卒業者は14,449人（男子7,127人，女子7,322人）で，前年度より468人（3.3%）増加した。

(1) 高等学校等進学者 ※1

高等学校等進学者数は14,267人（男子7,029人，女子7,238人）で，前年度より501人（3.6%）増加した。進学率は98.7%（男子98.6%，女子98.9%）で，前年度より0.3ポイント上昇した。

(2) 専修学校進学者等 ※2

専修学校（高等課程）進学者や専修学校（一般課程）・公共職業能力開発施設等に入学した者は39人（男子17人，女子22人）で，前年度より22人減少している。

(3) 就職者

就職者は就職のみの者は30人で，これに就職進学者・就職入学者を含めると35人（男子33人，女子2人）となり，前年度より12人減少した。就職率は男子0.5%（前年度より0.1ポイント下降），女子0.0%（前年度より0.1ポイント下降）となり，総数では0.2%（前年度より0.1ポイント下降）となった。全国値は0.4%で，全国値を0.1ポイント下回っている。

就職先を産業別にみると，第2次産業が最も多く（構成比54.3%），次いで第3次産業（同34.3%）となっている。

(4) その他 ※3

その他（進学，入学，就職のいずれもしなかった者）は113人で，前年度より3人減少した。

※ 高等学校等進学者：高等学校，高等専門学校等へ進学した者

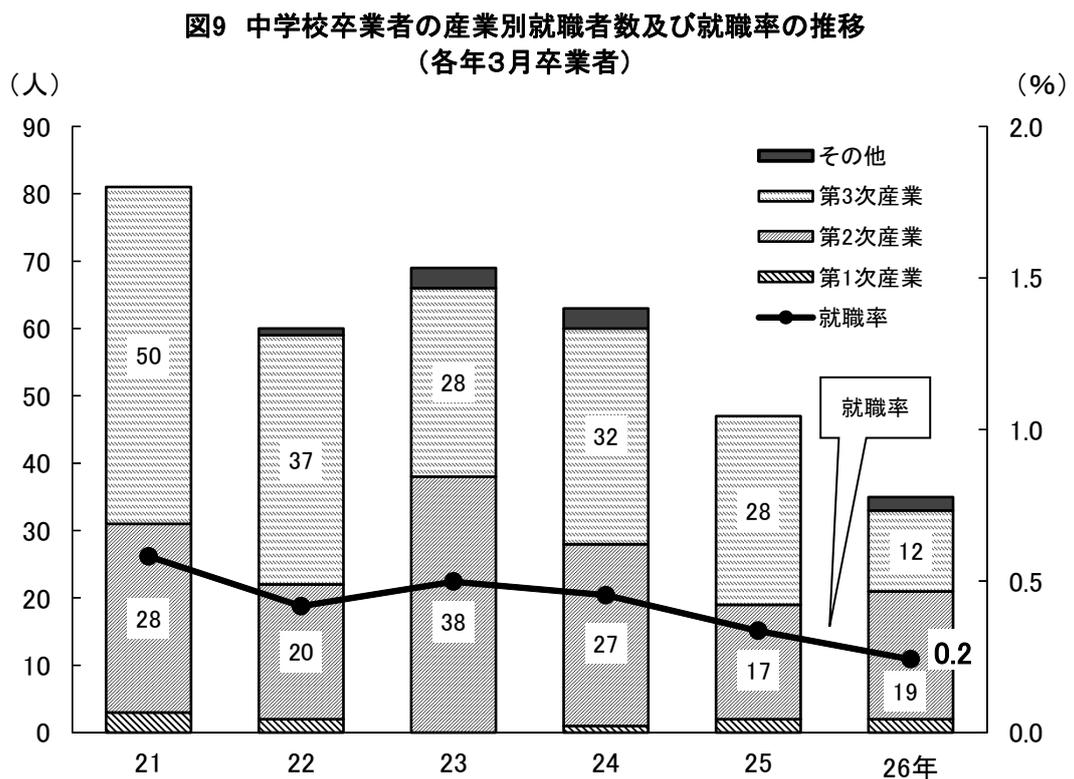
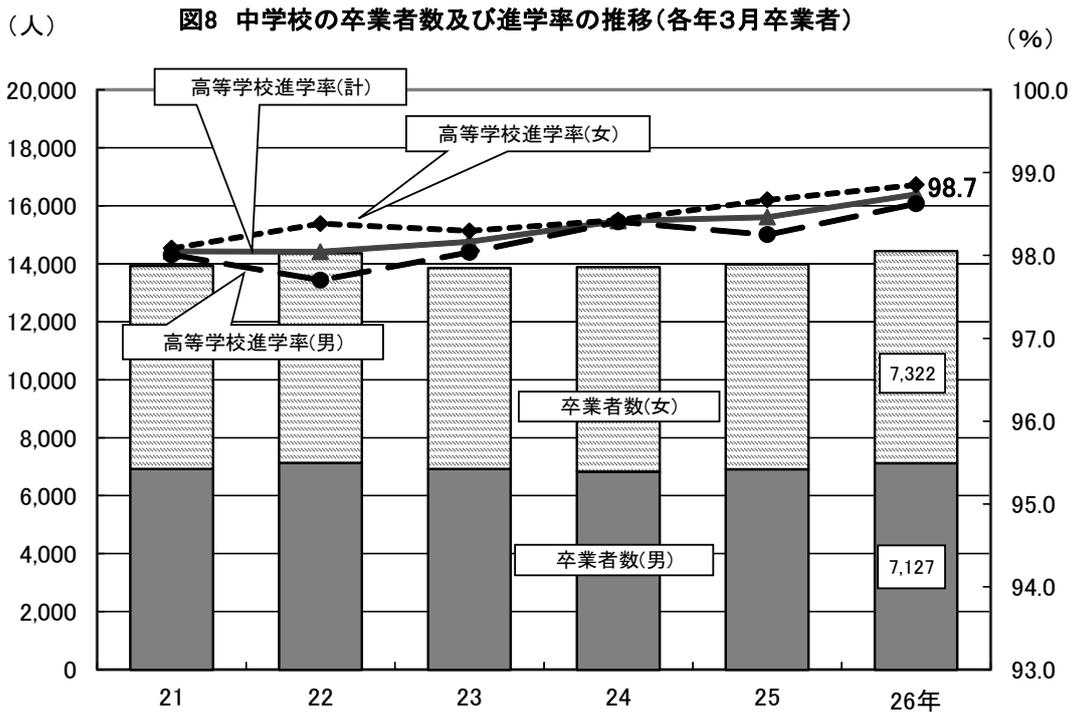
※ 専修学校進学者等：専修学校（高等課程），専修学校（一般課程）及び公共職業能力開発施設へ進学した者

※ その他：家事手伝いをしている者，外国の高等学校等に入学した者，他の項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者

表 23 中学校の進路別卒業生数の推移（各年3月卒業生）

（単位：人，%）

年次 男女	総数	高等学校等 進学者	専修学校 (高等課程) 進学者等	就職者	その他	(再掲) 就職進学者 ・ 就職入学者	高等学校等進学率		就職率	
								全国値		全国値
平成21年	13,932	13,660	46	70	156	11	98.0	97.9	0.6	0.5
22年	14,376	14,095	39	55	187	5	98.0	98.0	0.4	0.4
23年	13,857	13,603	59	62	133	7	98.2	98.2	0.5	0.4
24年	13,897	13,677	34	61	125	2	98.4	98.3	0.5	0.4
25年	13,981	13,766	61	38	116	9	98.5	98.4	0.3	0.4
平成26年	14,449	14,267	39	30	113	5	98.7	98.4	0.2	0.4
男	7,127	7,029	17	28	53	5	98.6	98.1	0.5	0.6
女	7,322	7,238	22	2	60	0	98.9	98.7	0.0	0.2
増加数 (26-25年)	468	501	△22	△8	△3	△4	0.3	0.0	△0.1	0.0



注) 第1次産業: 農業, 林業, 漁業

第2次産業: 鉱業, 採石業, 砂利採取業, 建設業, 製造業

第3次産業: 電気・ガス・熱供給・水道業, 情報通信業, 運輸業, 郵便業, 卸売業, 小売業, 金融業, 保険業, 不動産業, 物品賃貸業, 学術研究, 専門・技術サービス業, 宿泊業, 飲食サービス業, 生活関連サービス業, 娯楽業, 教育, 学習支援業, 医療, 福祉, 複合サービス事業, サービス業(他に分類されないもの), 公務(他に分類されるものを除く)

2 高等学校

大学等進学率は60.4%，就職率は12.9%

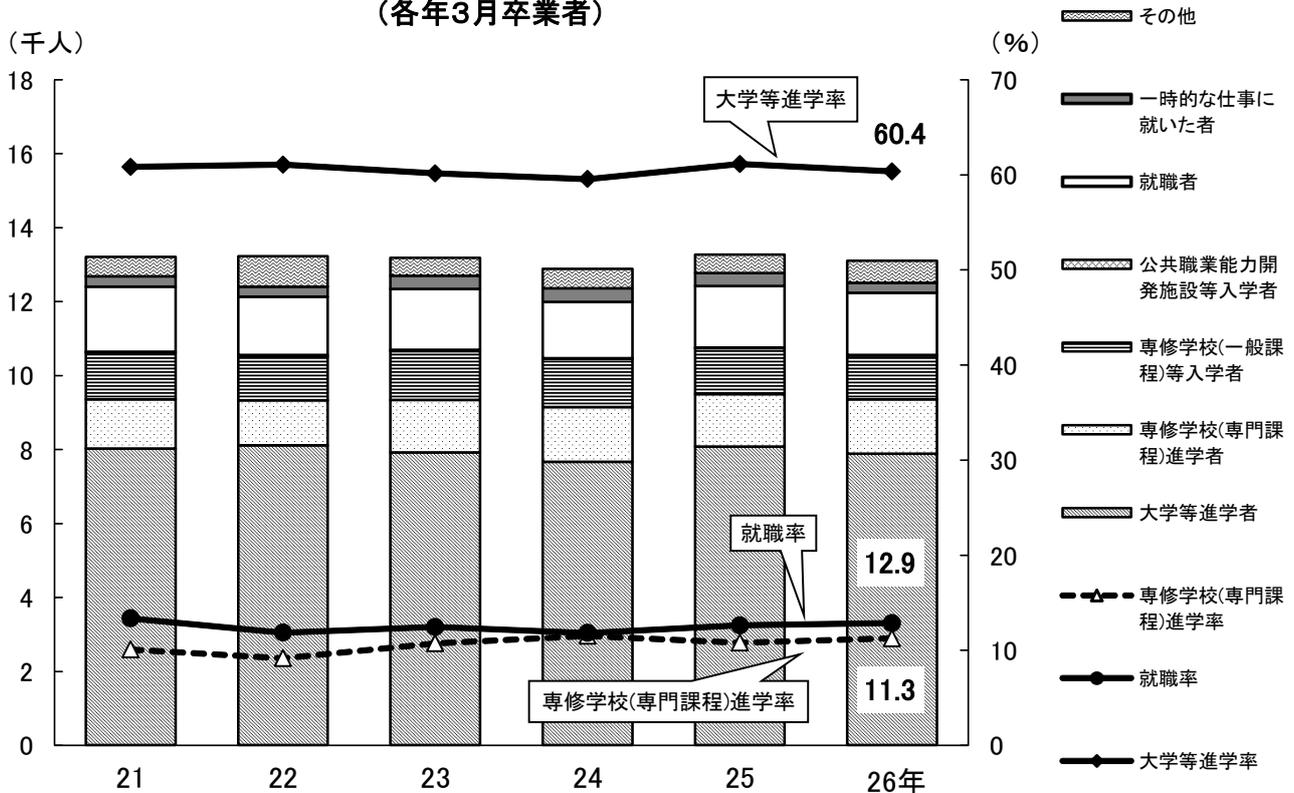
平成26年3月の高等学校の卒業者は13,062人（男子6,533人，女子6,529人）で，前年度より138人（△1.0%）減少した。進路別では，大学等進学者7,883人（構成比60.4%），専修学校進学者等2,672人（同20.5%），就職者1,678人（同12.8%），その他（進学，入学，就職のいずれもしなかった者）は829人（同6.3%）でそのうち一時的な仕事に就いた者は235人（同1.8%）となっている。

表24 高等学校の進路別卒業生数の推移（各年3月卒業生）

（単位：人）

年次 男女	総数	大学等 進学者	専修学校（専門課程）進学者等				就職者	その他		（再掲） 就職進学者 ・ 就職入学者
			総数	専修学校 （専門課程） 進学者	専修学校 （一般課程） 等入学者	公共職業能力 開発施設等 入学者		（再掲） 一時的な 仕事に 就いた者		
平成21年	13,186	8,021	2,607	1,330	1,261	16	1,759	799	276	1
22年	13,278	8,108	2,411	1,218	1,174	19	1,574	1,185	366	—
23年	13,166	7,919	2,768	1,413	1,327	28	1,640	839	365	—
24年	12,869	7,664	2,810	1,481	1,305	24	1,521	874	347	—
25年	13,200	8,070	2,686	1,425	1,239	22	1,664	780	277	2
平成26年	13,062	7,883	2,672	1,470	1,180	22	1,678	829	235	1
男	6,533	3,611	1,343	604	720	19	1,132	447	111	—
女	6,529	4,272	1,329	866	460	3	546	382	124	1
増加数 (26-25年)	△ 138	△ 187	△ 14	45	△ 59	—	14	49	△ 42	△ 1

図10 高等学校の卒業生数，進学率及び就職率の推移
（各年3月卒業生）



(1) 大学等進学者 ※1

大学等進学者数は7,883人（男子3,611人，女子4,272人）で，前年度より187人減少した。
大学等進学率は60.4%（男子55.3%，女子65.4%）で，前年度より0.8ポイント下降した。

(2) 専修学校進学者等 ※2, 3

専修学校進学者等は2,672人（男子1,343人，女子1,329人）で，前年度より14人減少した。
その内訳は，専修学校（専門課程）進学者1,470人，専修学校（一般課程）等入学者1,180人，公共職業能力開発施設等入学者22人である。専修学校（専門課程）進学率は11.3%（男子9.2%，女子13.3%）で，前年度より0.5ポイント上昇した。

(3) 就職者

就職者は，就職のみの者は1,678人（男子1,132人，女子546人）で，前年度より14人増加した。
就職率は12.9%（男子17.3%，女子8.4%）と，前年度より0.2ポイント上昇している。
全国値は，17.5%であり前年度より0.6ポイント上昇した。

※1 大学等進学者：大学，短期大学等へ進学した者

※2 専修学校（専門課程）進学者：専修学校の専門課程（高等学校卒業程度を入学資格とする課程で通常，専門学校と称する。）へ進学した者

※3 専修学校（一般課程）等入学者：専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校（予備校等）に入学した者

表25 高等学校卒業者の進学率及び就職率の推移（各年3月卒業者）

（単位：％）

年次 男女	大学等進学率		専修学校（専門課程）進学率		就職率	
	神戸市	全国	神戸市	全国	神戸市	全国
平成21年	60.8	53.9	10.1	14.7	13.3	18.2
22年	61.1	54.3	9.2	15.9	11.9	15.8
23年	60.1	53.9	10.7	16.2	12.5	16.3
24年	59.6	53.5	11.5	16.8	11.8	16.8
25年	61.1	53.2	10.8	17.0	12.6	17.0
平成26年	60.4	53.8	11.3	17.0	12.9	17.5
男	55.3	51.5	9.2	13.6	17.3	21.1
女	65.4	56.1	13.3	20.5	8.4	13.9

(4) 就職状況

就職先を産業別に見てみると，製造業が532人（構成比31.7%）と最も多く，次いで卸売業，小売業222人（同13.2%），運輸業，郵便業197人（同11.7%）の順である。この上位3位までで全体の過半数を占めている。また，男女別にみると，男子は製造業（420人，37.1%），運輸業，郵便業（159人，14.0%）が多く，女子は卸売業，小売業（116人，21.2%），製造業（112人，20.5%）が多くなっている。

図11 男女別、産業別高等学校卒業者の就職者数(構成比) (平成26年3月卒業者)

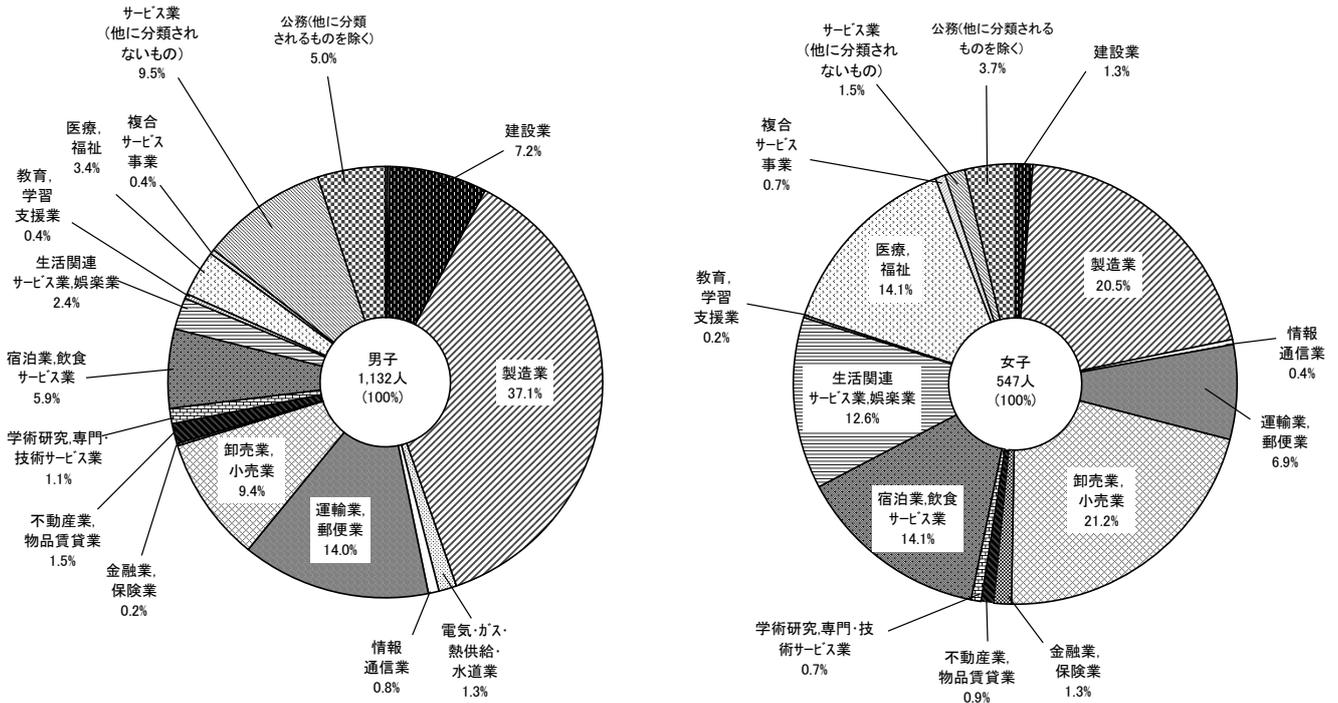


表26 高等学校卒業者の産業別就職者数 (各年3月卒業者)

卒業年次 男女	総数	(単位:人,%)																			
		農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業 (他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	その他
実数																					
平成 21年	1,760	—	—	—	78	763	20	39	162	235	12	12	9	112	59	6	102	4	86	59	2
22年	1,574	1	1	32	96	547	26	22	122	230	5	10	19	109	100	8	100	16	67	50	13
23年	1,640	4	1	32	79	529	31	18	167	235	—	8	27	112	103	12	110	14	71	83	4
24年	1,521	5	1	1	65	551	33	16	180	157	2	12	45	112	92	1	92	6	62	64	24
25年	1,666	—	—	—	81	569	27	12	194	196	9	11	15	137	80	14	113	4	92	86	26
平成 26年	1,679	2	2	—	89	532	15	11	197	222	9	22	17	144	96	5	116	8	115	77	—
男	1,132	2	2	—	82	420	15	9	159	106	2	17	13	67	27	4	39	4	107	57	—
女	547	—	—	—	7	112	—	2	38	116	7	5	4	77	69	1	77	4	8	20	—
構成比																					
平成 21年	100.0	—	—	—	4.4	31.4	1.1	2.2	9.2	13.4	0.7	0.7	0.5	6.4	3.4	0.3	5.8	0.2	4.9	3.4	0.1
22年	100.0	0.1	0.1	2.0	6.1	34.8	1.7	1.4	7.8	14.6	0.3	0.6	1.2	6.9	6.4	0.5	6.4	1.0	4.3	3.2	0.8
23年	100.0	0.2	0.1	2.0	4.8	32.3	1.9	1.1	10.2	14.3	—	0.5	1.6	6.8	6.3	0.7	6.7	0.9	4.3	5.1	0.2
24年	100.0	0.3	0.1	0.1	4.3	36.2	2.2	1.1	11.8	10.3	0.1	0.8	3.0	7.4	6.0	0.1	6.0	0.4	4.1	4.2	1.6
25年	100.0	—	—	—	4.9	34.2	1.6	0.7	11.6	11.8	0.5	0.7	0.9	8.2	4.8	0.8	6.8	0.2	5.5	5.2	1.6
平成 26年	100.0	0.1	0.1	—	5.3	31.7	0.9	0.7	11.7	13.2	0.5	1.3	1.0	8.6	5.7	0.3	6.9	0.5	6.8	4.6	—
男	100.0	0.2	0.2	—	7.2	37.1	1.3	0.8	14.0	9.4	0.2	1.5	1.1	5.9	2.4	0.4	3.4	0.4	9.5	5.0	—
女	100.0	—	—	—	1.3	20.5	—	0.4	6.9	21.2	1.3	0.9	0.7	14.1	12.6	0.2	14.1	0.7	1.5	3.7	—

(5) その他 (一時的な仕事に就いた者を含む)

その他(進学, 入学, 就職のいずれもなかった者)は829人で, 前年度より49人増加した。全体に占める割合は6.3%と前年度より0.4ポイント上昇した。そのうち, 一時的な仕事に就いた者は235人で, 全体に占める割合は1.8%と, 前年度より0.3ポイント下降した。

※その他: 一時的な仕事に就いた者, 家事手伝いをしている者, 外国の大学等に入学した者, 他の項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者

※一時的な仕事に就いた者: アルバイト, パートなど, 臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者

3 大学

進学率は9.4%，就職率は72.0%

(1) 大学卒業者の状況

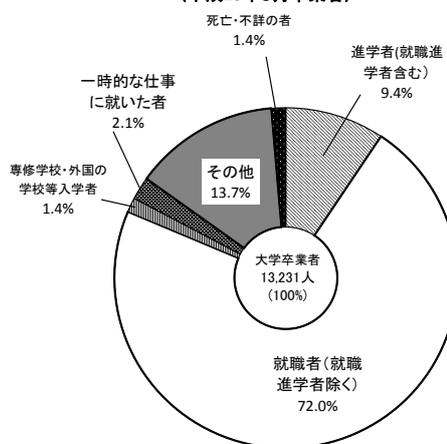
大学卒業者の状況別内訳は、進学者（就職進学者含む）1,239人（構成比9.4%）、就職者（就職進学者除く）9,526人（同72.0%）、専修学校・外国の学校等入学者184人（同1.4%）、一時的な仕事に就いた者284人（2.1%）、その他1,819人（13.7%）、死亡・不詳の者179人（1.4%）となっている。

表27 状況別大学卒業者数（平成26年3月卒業者）

卒業年次 男 女	卒業者総数	進学者 (a)	実数					死亡・不詳の者
			就職者	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	その他		
平成26年	13,231	1,239	9,526	184	284	1,819	179	
男	6,036	901	3,937	76	112	920	90	
女	7,195	338	5,589	108	172	899	89	
平成26年	100.0	9.4	72.0	1.4	2.1	13.7	1.4	
男	100.0	14.9	65.2	1.3	1.9	15.2	1.5	
女	100.0	4.7	77.7	1.5	2.4	12.5	1.2	

a) 就職進学者を含む

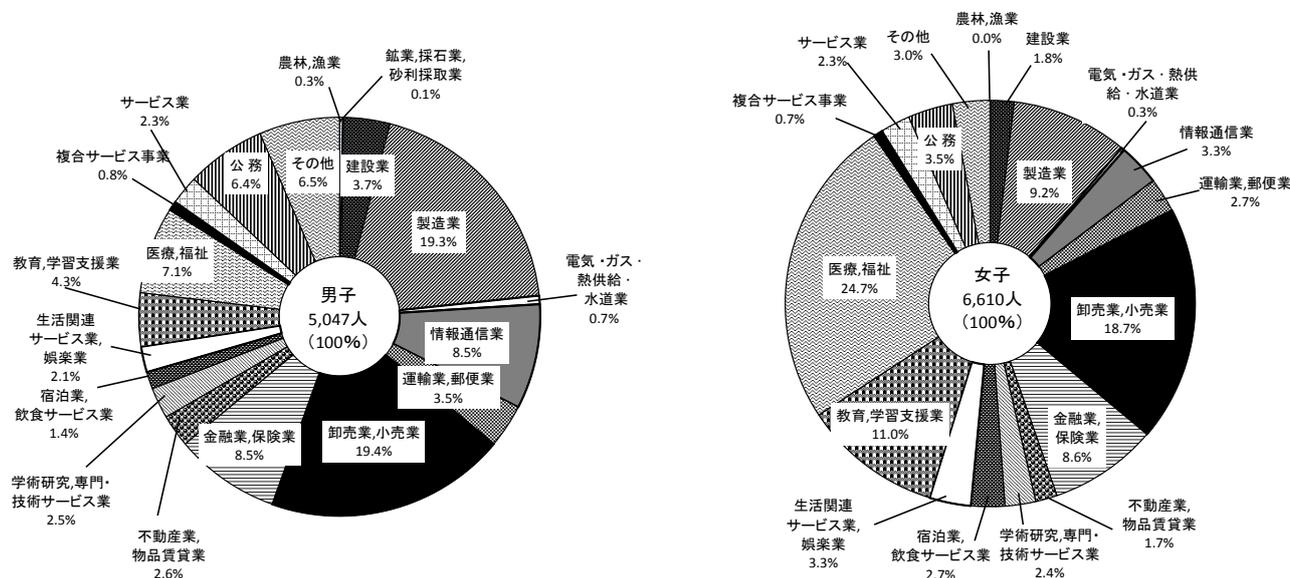
図12 状況別大学卒業者(大学院生除く)(構成比)(平成26年3月卒業者)



(2) 大学，大学院，短期大学卒業者の就職状況

就職先を男女別，産業別に見てみると，男子は卸売業，小売業（980人，19.4%），製造業（972人，19.3%），が多く，女子は医療，福祉（1,631人，24.7%），卸売業，小売業（1,238人，18.7%）が多い。

図13 大学卒業者(大学，大学院，短期大学)の男女別，産業別就職者(構成比)(平成26年3月卒業者)



(担当：三吉 内線：2328)

平成26年度 調査のあらまし

1 調査の目的

この調査は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。
(基幹統計調査)

2 調査の範囲

- (1) 学校調査……………小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 幼稚園, 大学, 短期大学, 高等専門学校, 専修学校及び各種学校
- (2) 卒業後の状況調査……中学校, 高等学校, 中等教育学校及び特別支援学校の中学部・高等部の卒業生, 大学, 短期大学及び高等専門学校の卒業生

3 調査事項

(1) 学校調査

- ア 学校の名称, 種別及び所在地
- イ 学校の特性に関する事項
- ウ 学部, 学科, 課程又は学級に関する事項
- エ 教員及び職員の数
- オ 児童, 生徒, 学生又は幼児の在籍状況及び出席状況
- カ 児童, 生徒, 学生又は幼児の入学, 卒業及び転出入の状況

(2) 卒業後の状況調査

- ア 学校の名称, 種別及び所在地
- イ 学校の特性に関する事項
- ウ 卒業生の卒業時における所属に関する事項
- エ 卒業生の進学, 就職等の状況

4 調査の実施時期

- (1) 学校調査……………平成26年5月1日現在
- (2) 卒業後の状況調査……平成25年度間の卒業生(高等学校, 中等教育学校及び特別支援学校の高等部にあつては, 平成24年度以前の卒業生で上級の学校に入学を志願した者を含む。)について, 平成26年5月1日現在

5 利用上の注意

- (1) 区別学校数, 生徒数等にあつては, 学校本部所在地の区分によつた。
- (2) 複数の市町にわたる大学等にあつては, 神戸市内に本部を置くものを掲載した。
ただし, 学生数については, 神戸市内の学部等の学生数を掲載した。
- (3) この報告書に用いた用語のうち注意を要するものは次のとおりである。
 - ア 設置者とは, 国立, 公立, 私立の区分をいう。なお, 国立の学校には, 国立大学法人の設置する学校を, 公立の学校には, 公立大学法人の設置する学校をそれぞれ含む。
 - イ 学校数には分校及び休校中の学校を含む。
 - ウ 特別支援学級とは, 学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒で編成されている学級をいう。
 - エ 構成比は, 小数点第2位を四捨五入した。このため合計が100.0と一致しない場合がある。ただし, 単位未満は0.0とした。